

日本多施設共同コホート研究（J-MICC研究）
平成19年度 第1回追跡調査ワーキング（WG）グループ 議事録

日時：平成19年9月25日（火） 午後1時～午後4時15分
場所：名古屋大学医学部 基礎棟301ゼミ室

出席者（敬称略）：三上春夫、松尾恵太郎、三谷智子、尾崎悦子、高嶋直敬、鈴木貞夫、原めぐみ、上村浩一、新村英士（以上、追跡調査WGメンバー）、浜島信之（主任研究者）、若井建志、内藤真理子、岡田理恵子（以上、中央事務局）

欠席者（敬称略）：大中佳三（追跡調査WGメンバー）

1. 死亡小票閲覧申請の進捗状況

事務局より、死亡小票閲覧申請について、厚生労働省大臣官房統計情報部の担当者とのやりとりにより予備審査通過の可能性が出て来たことが報告された。これに関連して、厚生労働省担当者に確認すべき事項、閲覧申請項目について意見、助言が出された。

2. 各コホート研究実施グループでの追跡調査進捗状況

追跡調査進捗状況について、ベースライン調査実施中の8グループより現状報告、今後ベースライン調査開始予定の1グループより計画の報告があった。これに関連して下記の議論がなされた。

- (1) J-MICC研究全体としては、研究協力者のベースライン調査参加以前のがん罹患情報をがん登録から収集することはしないこととした。
- (2) がん罹患の出張採録について、院内がん登録のブロック研修会で有用な情報が得られる可能性がある。
- (3) 人口規模が小さく、がん患者の県外流出が少ないならば、がん患者が集中する県内の少数の病院でがん罹患情報を収集することで、精度の高いがん罹患登録ができる可能性がある。
- (4) 循環器疾患の罹患情報収集については、5グループが実施中または計画中である。今後、情報収集を実施するグループでは、将来データの統合分析を図るため、滋賀医科大学グループ提案の循環器疾患（心筋梗塞、脳卒中、急性死）登録票を基礎に登録票を作成することが望ましい。

3. 追跡調査の今後の計画

事務局より、J-MICC研究「追跡調査手順書」に則り、死亡、がん罹患、脱落・転居の追跡調査を進める必要があることが下記のように確認された。

- (1) 脱落については各コホート研究実施グループで早急に調査を行い、中央事務局へ報告することとした。
- (2) がん罹患については2009年が最初の報告時期であるが、報告の準備として、各コホート研究実施グループで地域がん登録の利用申請、主要医療病院での調査、研究協力者への定期的調査など、必要な手続き、情報収集を行うこととした。
- (3) 死亡については、死亡小票の閲覧許可がまだ得られていないが、閲覧許可までには、研究協力者中の死亡者を同定しておく必要がある。そこで各コホート研究実施グループでの追跡調査の進捗状況も考慮し、来年の3月初めに平成16～18年分の死亡小票閲覧の本申請を実施することとし、来年3月までには研究協力者中の死亡者を各グループで同定することとした。